

## 週報

## こひつじ

第40巻 6号  
 大津キリスト教会  
 菊池郡大津町室 119  
 TEL 096-293-4470  
 FAX 096-293-4961  
 牧師 米村 英二

## あなたはわたしを愛するか

## その三 自分を養う

次にイエスはペテロに言われた。

「わたしを愛するならば、わたしの

小羊を飼いなさい」と。

「わたしの小羊」とはだれか。

ペテロ自身である。イエスは、

「まずは自分を育み、養いなさい」と

とペテロに言われたのではない

だろうか。

イエスを愛した人が最初に取り

組むのも同じである。だから聖書

は言う。

「力の限り、見張って、あなたの

心を見守れ。いのちの泉はこれか

らわく」(箴言四の二三)

童謡詩人金子みすゞに『砂の王

国』という詩がある。

私はいま

砂のお国の王様です。

お山と、谷と、野原と、川を

思う通りに変えてゆきます。

おとぎばなしの王様だって

自分のお国のお山や川を、

こんなに変えはしないでしよう。

私はいま

ほんとにえらい王様です。

彼女の人生を外側から見れば、

それはあまりに悲しいものだった。me.

しかし彼女の内側はそうでなかつた。

彼女はそれを「砂の王国」と

呼んだ。

外の世界は思うようにならなく

ても、砂の世界は自由自在だ。山

をつくり、谷をつくり、それを壊  
 とがあるだろう。しかし、ひどい  
 してまた別の山をつくる。自分は  
 言葉を投げられたからといって傷  
 まさに砂の国の、えらい、えらい  
 王様だというのである。  
 彼女は自分の心の王となり、そ  
 うにでもなることなのだから。  
 れをよく治めていた。

私たちが注意を払うべきは、自  
 も同じことを言っている。

分の心であって他人の心ではない。  
 「あなたの許可なくして、だれも  
 人はみな他人の欠点は、すぐに  
 あなたを傷つけることはできない」  
 気がついて直そうとするが、自分  
 傷つくか、傷つかないか、それ  
 の欠点は指摘されるのもいやなの  
 を決めるのは私であって、傷つけ  
 ではないか。  
 ようとした人ではない、と言って

しかし、人を変えるのは、私た  
 いるのである。

ちの責任ではない。それは私たち  
 人の言葉に翻弄されない自立し  
 の手のうちにはない。手のうちに  
 た人間となる。それが心に自分の  
 あるのは自分である。したがって  
 王国をつくることであり、自分を  
 変革すべきは自分であって、決し  
 養うということでもあるだろう。

て他人ではないのである。

こんな英語のことわざがある。

Sticks and stones may break my

bones, but words will never hurt

me.

棒や石は私の骨を折るかもしれ  
 つの言葉によって生きると聖書は  
 ないが、人の言葉が私を傷つける  
 言う。

ことは決してない。

では、どんな本を読むべきか。  
 労せずに書かれたものは読むな、

石を投げられたら、骨を折ることある人は助言している。

次にどう読むか。  
ゆっくり読む。

○教会学校は午前一〇時から。  
○説教は米村牧師。

「読むことを学ぶためには、まず極めてゆっくりと読まねばならぬ。そして次には極めてゆっくりと読まねばならぬ。ゆっくり読むこと、それは第一の原則であり、そして絶対にあらゆる読書に適用される場所のものである」と言ったのはフアゲである。

先週の出席

司会は林田実季さん、奏樂は吉岡隆夫さん。説教は米村牧師。

すぐれてよい本は常にゆっくりと、書かれた速さで読むこと、これがフアゲの主張だった。

第二は黙想。

ひとりになる時間を持つ。聖書

○礼拝参加者は、第一礼拝が五十一名、第二が四十二名、合計九十三名（男三四、五九）。それに子どもが七名、合わせて一〇〇名でした。

は言う。

「床の上で自分の心に語り、静まれ」（詩篇四の四）と。

第三に行なうべきは、規則正しい生活である。早寝早起き、整理整頓、簡素な生活である。

自分を養うには手間がかかる。しかし、大事な事だと思う。（終）

今日の礼拝

○第一礼拝は午前一〇時から、第二礼拝は午前一一時から。